

関係各位

高知県病虫害防除所長

令和 6 年度病虫害発生予察技術情報第 1 号

果樹カメムシ類(チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ等)の発生状況について

県内 4 地点で実施している果樹カメムシ類のフェロモントラップ調査における 5 月の誘殺数は、全調査地点で平年値を上回っており、4 月 26 日の注意報発表時よりも多くなっています。特に県西部では 5,098 頭(平年同時期 181.4 頭)と、5 月としては過去 20 年で最も多い誘殺が見られました(表 1)。予察灯における誘殺数は平年値を上回っており(表 2)、カンキツやナシ、モモ等の果樹園地でも果樹カメムシ類の飛来や本虫の吸汁による落花や被害果の発生が確認されています(写真)。

本虫の飛来は、曇天で湿度が高く夜温の高い日に多くなる傾向があるため、今後も果樹園(モモ、スモモ、ナシ、カンキツ類、カキ、ブドウ等)に多く飛来する可能性があります。そのため、園内外をこまめに見回り、早期発見に努めるとともに、飛来が確認された場合には、速やかに薬剤による防除を実施してください。

薬剤防除に当たっては、高知県病虫害防除指針(高知県農薬情報システム(<https://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/haishinfile/list/kochi>)内に掲載)を参照し、農薬使用基準の遵守及び周辺農作物等への飛散防止対策の徹底をお願いします。

表 1 フェロモントラップにおける果樹カメムシ類の誘殺数(5 月)

	月		5 月						計
	半旬	1 半旬	2 半旬	3 半旬	4 半旬	5 半旬	6 半旬		
東部	本年	4	4	7	12	28	28	83	
	平年	2.8	3.1	7.1	13.8	13.2	11.3	51.3	
中央部	本年	25	30	30	30	59	58	232	
	平年	5.8	29.8	27.1	32.8	31.3	31.8	158.6	
中西部	本年	34	57	48	69	180	185	573	
	平年	70.5	44.5	34.2	44.7	43.9	30.7	268.5	
西部	本年	553	153	74	109	1,488	2,721	5,098	
	平年	12.4	11.2	22.3	26.2	27.3	82.0	181.4	

東部:安芸市井ノ口、中央部:香美市土佐山田町宮ノ口、中西部:須崎市浦ノ内、西部:四万十市竹島
誘殺数はチャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシの合計
平年値は平成 26 年~令和 5 年の 10 か年の平均

表2 予察灯における果樹カメムシ類の誘殺数(5月)

	月	5月						計	
		半旬	1半旬	2半旬	3半旬	4半旬	5半旬		6半旬
中央部	チャバネオ	本年	7	8	4	0	0	2	21
	カメムシ	平年	0.1	0.2	0.1	0.4	0.0	4.5	5.3
	ツヤアオ	本年	4	4	2	3	0	1	14
	カメムシ	平年	0.0	0.0	0.1	0.2	0.0	0.1	0.4
西部	チャバネオ	本年	6	3	2	0	3	53	67
	カメムシ	平年	0.0	0.0	0.0	1.2	0.4	0.6	2.2
	ツヤアオ	本年	13	26	4	0	0	14	57
	カメムシ	平年	0.0	0.2	0.4	2.6	1.2	0.8	5.2

中央部:南国市甘枝、西部:四万十市竹島

平年値は、南国市は平成26年～令和5年の10か年の平均、四万十市は令和元年～5年の5か年の平均



写真 ブンタン幼果の被害

吸汁加害によりへこんだ果実の表面部分を切断すると、吸汁痕(矢印)が観察できる

お問合せは、病害虫防除所(TEL: 088-863-1132)または環境農業推進課(TEL: 088-821-4861)